

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科： 国語 科 目： 言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ B 組

使用教科書：（「新編 言語文化」数研出版）

教科 言語文化 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	「書くこと」「読むこと」において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・ 聞	書	読					
1 学 期	「言語文化と近現代」 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようになる。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとする。	1・指導事項 作品世界について自分の意見を持つ。 ・教材 「とんかつ」三浦哲郎 ・一人1台端末の活用 単語や言葉の意味を調べる。 課題の提出。			○	【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	15
	定期考查						○	○		1
	「言語文化と近現代」 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようになる。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとする。	1・指導事項 学びを広げ、心情を理解する。 ・教材 「羅生門」芥川龍之介 「今昔物語集」の話の内容を理解し、「羅生門」との違いを確認する。 ・一人1台端末の活用 単語や言葉の意味を調べる。 課題の提出。			○	【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	○	○	○	10
	定期考查						○	○		1

[illegible]

高等学校 令和7年度（2 学年用） 教科 公民 科目 現代の社会

教 科： 公民 科 目： 現代の社会 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ B 組

使用教科書：（東京法令出版『公共』＜190東法[公共712]>）

- 教科 公民 の目標：
- 【知識及び技能】 考察・選択・判断の手掛かりとなる概念や理論について理解し、諸資料から情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、考察したり、公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れ構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 現代の社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
公共的な空間における基本的原理の活用を主台に、「現代の社会」の諸課題を発展的に考察するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。	日本における政治や経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について、多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、社会と関わる中で自らの役割の価値を見いだしていくことの大切さや、公共的な空間の中で地域の発展のために自らが果たす役割について理解を深めさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「経済のしくみ①」 【知識・技能】 ・市場経済の機能と限界、経済規模の測り方や景気の変動について理解させる。 【思考・判断・表現】 ・市場経済システムの機能について考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることの重要性についての自覚を深めさせる。	○経済のしくみ① ・経済活動と私たちの生活 ・市場のしくみ ・資本主義と社会主義 ・市場の失敗 ・現代の企業 ・金融のしくみと働き	【知識・技能】 ・市場経済の機能と限界について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・市場経済システムの役割について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることの重要性についての自覚を深められている。	○	○	○	12
	定期考査と振り返り			○	○		2
	「経済のしくみ②」 【知識・技能】 ・市場経済における財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化について理解させる。 【思考・判断・表現】 ・市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする政府の役割について考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることの重要性についての自覚を深めさせる。	○経済のしくみ② ・国民所得 ・景気変動と物価の動き ・財政の役割 ・財政の課題 ・中央銀行と金融の自由化	【知識・技能】 ・財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、市場経済の機能と限界について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする政府の役割について考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることの重要性についての自覚を深められている。	○	○	○	12
	定期考査と振り返り			○	○		2

2 学 期	【知識・技能】 ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりについて理解させる。 【思考・判断・表現】 ・国際社会における貧困や格差の問題などに関わる現実社会の事柄を考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会における貧困や格差が解消されていない状況と日本に住む私たちのかわりについて関心を持たせる。	○国際社会① ・貿易と国際分業 ・外国為替のしくみと国際収支 ・戦後国際経済の枠組みと変化 ・グローバル化する経済	【知識・技能】 ・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりについて理解できている。 【思考・判断・表現】 ・国際社会における貧困や格差の問題などに関わる現実社会の事柄を考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会における貧困や格差が解消されていない状況と日本に住む私たちのかわりについて関心を持っている。	○	○	○	15
	定期考査と振り返り			○	○		2
	【知識・技能】 ・グローバル化した国際社会の現在とその課題について理解させる。 【思考・判断・表現】 ・国際社会における貧困や格差の問題などに関わる現実社会の事柄を考察させる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国際社会における貧困や格差が解消されていない状況と日本に住む私たちのかわりについて関心を持たせる。	○国際社会② ・国際社会が抱える問題 -ロシア・ウクライナ問題 -中東問題 -アメリカ -東アジア -アフリカ	【知識・技能】 ・グローバル化した国際社会の現在とその課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際社会における貧困や格差の問題などに関わる現実社会の事柄を考察できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会における貧困や格差が解消されていない状況と日本に住む私たちのかわりについて関心を持っている。	○	○	○	15
定期考査と振り返り			○	○		2	
3 学 期	【知識・技能】 ・公共的な空間における基本的原理の活用を土台に、「現代の社会」の諸課題を発展的に考察するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 日本における政治や経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について、多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現のために何ができるかについて主体的に追究させる。	○探究学習 ・これまで扱ってきたテーマの中から問いを立て、よりよい社会の実現を目指して情報の収集・整理・まとめ・発表を行う	【知識・技能】 ・公共的な空間における基本的原理の活用を土台に、「現代の社会」の諸課題を発展的に考察するとともに、諸資料から必要な情報を調べまとめる技能を身に付けることができる。 【思考・判断・表現】 日本における政治や経済の諸課題およびグローバル化する国際社会の諸課題について、多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を身に付けられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現のために何ができるかについて主体的に追究することができる。	○	○	○	14
	学年末考査			○	○		2
							合計
						78	

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教科：数学 科目：数学Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～ B組

使用教科書：（数Ⅰ708「高校数学Ⅰ」 実教出版）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 2次関数 1節「関数とグラフ」 【知識及び技能】 関数とは何かを理解するとともに、関数の値を求めたりグラフを書いたりする。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの特徴や関数式とグラフとの関係性を考察する。また、グラフを書くために適切な式変形をする。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校に学んだ内容を振り返りながら、2次関数のグラフを書こうとしたり、特徴をつかもうとしたりする。	指導内容 1 1次関数とそのグラフ 2 2次関数とそのグラフ 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 関数とは何かを理解するとともに、関数の値を求めたりグラフを書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの特徴や関数式とグラフとの関係性を考察できる。また、グラフを書くために適切な式変形ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校に学んだ内容を振り返りながら、2次関数のグラフを書こうとしたり、特徴をつかもうとしたりしている。	○	○	○	12
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1
	単元 2次関数 1節「関数とグラフ」 【知識及び技能】 関数とは何かを理解するとともに、関数の値を求めたりグラフを書いたりする。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの特徴や関数式とグラフとの関係性を考察する。また、グラフを書くために適切な式変形をする。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校に学んだ内容を振り返りながら、2次関数のグラフを書いたり、特徴をつかもうとしたりする。	指導内容 1 2次関数とそのグラフ 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 関数とは何かを理解するとともに、関数の値を求めたりグラフを書いたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの特徴や関数式とグラフとの関係性を考察できる。また、グラフを書くために適切な式変形ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校に学んだ内容を振り返りながら、2次関数のグラフを書こうとしたり、特徴をつかもうとしたりしている。	○	○	○	13
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1

2 学 期	単元 2次関数 2節「2次関数の値の変化」 【知識及び技能】 2次関数の特徴を意識しながら、最大値・最小値について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 最大値・最小値を求めるために、適切な式変形をする。定義域が設定された2次関数の最大値・最小値を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、2次関数の最大値・最小値を求めようとする。	指導内容 1 2次関数の最大値・最小値 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 2次関数の特徴を意識しながら、最大値・最小値について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 最大値・最小値を求めるために、適切な式変形ができる。定義域が設定された2次関数の最大値・最小値を考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ここまで学んだ内容を振り返りながら、2次関数の最大値・最小値を求めようとしている。	○	○	○	9
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1
2 学 期	単元 2次関数 2節「2次関数の値の変化」 【知識及び技能】 2次方程式を因数分解や解の公式で解けることを理解し、実際に解く。また、2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 判別式と共有点の関係やそれに伴う2次方程式の解の個数などを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ内容を振り返りながら、2次関数と2次方程式の解との関係や共有点について考えようとする。	指導内容 1 2次関数のグラフと2次方程式 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 2次方程式を因数分解や解の公式で解けることを理解し、実際に解くことができる。また、2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 判別式と共有点の関係やそれに伴う2次方程式の解の個数などを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 これまでに学んだ内容を振り返りながら、2次関数と2次方程式の解との関係や共有点について考えようとしている。	○	○	○	15
	単元 三角比 1節「三角比」 【知識及び技能】 相似や三平方の定理を振り返りながら、三角比について理解し、その値を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 三平方の定理を利用し、三角比の値が求められることを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校で学んだ内容を振り返りながら、三角比の値を求めようとする。また、三角比の良さに気づこうとする。	指導内容 1 三角形 2 三角比 教材 教科書・プリントなど	【知識及び技能】 相似や三平方の定理を振り返りながら、三角比について理解し、その値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 三平方の定理を利用し、三角比の値が求められることを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 中学校で学んだ内容を振り返りながら、三角比の値を求めようとしている。また、三角比の良さに気づこうとしている。	○	○	○	7
	定期考査		学習した内容を理解し、活用できている。	○	○		1

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教 科： 保健体育 科 目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ B 組

使用教科書：（ 現代高等保健体育 大修館書店 ）

教科 保健体育 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての他他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動・体力テスト 【知識及び技能】 体はぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや、心身の状態に気付き、仲間と主体的に関わり合うこと必要性を理解しながら運動に取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 体力の程度や性別等の違いを超えて、仲間とともに体づくり運動を楽しむための調整の仕方を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】 一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとすることや、主体的に体づくり運動に取り組もうとしている。	・指導事項 準備体操やストレッチなどの簡単な運動を通して、生徒の自己の体を知り、継続して運動に取り組む大切さに気付く時間を設ける。 ・教材 東京アルファ、プリント、動画、記録用紙等 ・一人1台端末の活用 等 体力テストの入力・個々の体力の把握。	【知識・技能】 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教えあおうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとするなどをしてたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	B 陸上競技 【知識及び技能】 短距離走、リレーの局面ごとに技術の名称があり、それぞれの技術には、記録の向上につながる重要な動きのポイントや安全で合理的な練習の仕方があること、競技のルール、運営の仕方や役割に応じた行動の仕方、全員が楽しむためのルール等の調整の仕方があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を生涯にわたって楽しむための関わり方を見つける。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする。	・指導事項 記録をもとに、自己や仲間合った走り方を考える時間を設ける。 ・教材 ストップウォッチ、バトン、スタートフラッグ等 ・一人1台端末の活用 等 走りの記録や、早く走るためのポイント調べ等。	【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、測定の仕方などについて理解している。短距離走・リレーでは、中間走の高いスピードを維持して速く走ることやバトンの受渡しで次走者と前走者の距離を長くすることができる。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどをしてたり、健康・安全を確保したりしている。	○	○	○	6
	C 球技（バドミントン） 【知識及び技能】 シャトルを相手のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。ネット付近でシャトルをコントロールし、打ち返したりすること。腕やラケットを強く振って、ネットより高い位置から相手のコートに打ち込むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 バドミントンに主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、互いに助け合い教えあおうとすることなどや健康・安全を確保しようとする。	・指導事項 個人の能力を高めるだけでなく、シングルス、ダブルスの試合を通して、対人で行う運動の経験を積み重ねる。 ・教材 ラケット、シャトル、得点板、ネット、ボール等 ・一人1台端末の活用 等 授業アンケート等。	【知識・技能】 役割に応じたシャトル操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やペアが考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 バドミントンの学習に主体的に取り組もうとすること。相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとし、互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教えあおうとすること。健康・安全を確保しようとする。	○	○	○	12

D	【選択球技】 〈ネット型〉 バドミントン、卓球、バレーボール 【知識及び技能】 サーブでは、ボールやシャトルをねらった場所に打つこと。ボールやシャトルを相手のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返すこと。ネット付近でボールやシャトルをコントロールし、打ち返したりすること。 【思考力、判断力、表現力等】 合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えること。健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。ルールを守り、勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について自己を振り返る。 【学びに向かう力、人間性等】 ネット型球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや健康・安全を確保しようとする。	・指導事項 各運動の試合を通して、個人やチームでの運動経験を増やし、生徒が協力しながら運動できる時間を増やす。 ・教材 ラケット、シャトル、得点板、ネット、ボール等 ・一人1台端末の活用 等 授業アンケート等。	【知識・技能】 役割に応じたボールやシャトル操作や安定したラケットの操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームが考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ネット型球技の学習に主体的に取り組もうとすること。相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとする。互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとすること。健康・安全を確保しようとする。	○	○	○	52
2・3 学期	〈ゴール型〉 バスケットボール、フットサル 【知識及び技能】 ゴール前に広い空間を作り出すために、守備者を引き付けてゴールから離れること。パスを出した後に次のパスを受ける動きをすること。ボール保持者が進行できる空間を作り出すために、進行方向から離れること。ゴールとボール保持者を結んだ直線上で守ること。ゴール前の空いている場所をカバーすること。 【思考力、判断力、表現力等】 健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返ること。ルールを守り競走したり、勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について自己を振り返ること。 【学びに向かう力、人間性等】 ゴール型の球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い教え合おうということなどや健康・安全を確保しようとする。	・指導事項 チームとしてのまとまりの中で、生徒が協働して運動に取り組む経験を積み重ねる時間を増やす。 ・教材 ラケット、シャトル、得点板、ネット、ボール等 ・一人1台端末の活用 等 授業アンケート等。	【知識・技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによって、ゴール前への侵入などからの攻防をすることができる。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームが考えたことを他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ゴール型球技の学習に主体的に取り組もうとすること。相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとする。一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとする。互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとすること。健康・安全を確保しようとする。				
E	体育理論（2）運動やスポーツの効果的な学習の仕方 【知識及び技能】 運動やスポーツの技能と体力は、相互に関連していること。また、期待する成果に応じた技能や体力の高め方があること。さらに、過度な負荷や長期的な酷使は、ケガや疾病の原因となる可能性があることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習について主体的に取り組もうとしている。	・指導事項 生徒が体の機能や競技による特性と関連付けて学習できるようにする。 ・教材 スライド「スポーツにおける技能と体力」「効果的な動きのメカニズム」、プリント、動画等 ・一人1台端末の活用 等 調べ学習や学習の振り返りを端末を使用して行う。	【知識・技能】 運動やスポーツの技能は、体力と相互に関連しており、技能は、身長や体重などの体格や巧みさなどの体力との関連で発揮されることや、運動やスポーツを行う際、個人の体力に不適切で過度な負荷た一定部位への長期的な酷使は、けがや疾病の原因となる可能性があること、また、これらを予防することで、スポーツが末永く継続できることについて理解している。 【思考・判断・表現】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、概念と自己の状況を関連付けたりして、自己や社会についての課題を発見すること。運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方について、習得した知識を基に、環境の異なる場所や変化を想定して、危険を予見し回避するための自己の提案を言葉や文章などで他者に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動やスポーツの効果的な学習に主体的に取り組もうとする。	○	○	○	2
							合計
							78

年間授業計画				保健体育		科目		保健			
高等学校 令和7年度（2学年用）教科				保健体育		科目		保健			
教科：保健体育		科目：保健		単位数：1		単位					
対象学年組：第2学年		A組～B組									
教科担当者：（A組：土倉）		（B組：土倉）		（組：）		（組：）		（組：）			
教科 保健体育の目標											
【知識及び技能】				家族計画は「生まれてくる子供たちはすべて、待ち望まれて生まれてこなければならない」という理念から始まり、それはパートナーとの協力なしでは成しえない現実を知り、それを実現するために不可欠な、さまざまな避妊法を科学的に理解する。また、わが国で合法化されている人工妊娠中絶について理解を深める。							
【思考力、判断力、表現力等】				妊娠に伴うさまざまな問題を具体的に考え、子供を望むときだけ妊娠するようにし、望まないときには避妊することが子供の健康を守ることにつながり、パートナー同士で互いに尊重する意識を養う。また、人工妊娠中絶の危険性を科学的に説明でき、それを回避するためにも避妊の協力が必要なことを理解している。							
【学びに向かう力、人間性等】				自分の考えを積極的に発表（レポート）し、また人の意見をよく聞いて授業に参加していたか。							
科目 保健		の目標：									
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】				【学びに向かう力、人間性等】			
家族計画は「生まれてくる子供たちはすべて、待ち望まれて生まれてこなければならない」という理念から始まり、それはパートナーとの協力なしでは成しえない現実を知り、それを実現するために不可欠な、さまざまな避妊法を科学的に理解する。また、わが国で合法化されている人工妊娠中絶について理解を深める。				妊娠に伴うさまざまな問題を具体的に考え、子供を望むときだけ妊娠するようにし、望まないときには避妊することが子供の健康を守ることにつながり、パートナー同士で互いに尊重する意識を養う。また、人工妊娠中絶の危険性を科学的に説明でき、それを回避するためにも避妊の協力が必要なことを理解している。				自分の考えを積極的に発表（レポート）し、また人の意見をよく聞いて授業に参加していたか。			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数		
1 学 期	A 単元 思春期と健康 ・思春期における体の変化を、男性と女性に分けて理解でき、心の発達にかかわって起こる様々な問題について例を挙げることができる。また、思春期は誰もが通る時期であり、思春期の悩みは大人になるために必要なものであることを理解し、適切に乗り切るために、時には周りに頼ることも意識させる。	・指導事項 ・思春期の体と健康 ・思春期の心と健康 ・性意識と性行動の選択 ・教材等 ・意見・感想レポート ・視聴DVD	・思春期における男女の特徴が理解できている。 ・思春期における様々な悩みは成長への入口で、自身の現状を客観的に考察する意欲があるか。 ・課題解決に向けた社会の様々な取り組みについて、周りの意見を聞いたり、自分の意見を持っているか。 (レポート評価)	○	○	○	3		
	B 単元 妊娠・出産と健康 ・妊娠・出産の過程を科学的に理解し、健康課題について考察する力を養う。また、妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスについて理解を深める。	・指導事項 ・受精・妊娠・出産 ・妊娠・出産のしやすさと年齢 ・母子保健サービスとの活用 ・教材等 ・意見・感想レポート ・視聴DVD	・妊娠・出産の過程を科学的に理解できているか。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例を挙げることができるか。 ・課題解決に向けた社会の様々な取り組みについて、周りの意見を聞いたり、自分の意見を持っているか。 (レポート評価)	○	○	○	3		
	C 単元 避妊法と人工妊娠中絶 ・家族計画の意義と適切な避妊法について理解する。 ・現代社会の現状を踏まえて、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について理解を深める。	・指導事項 ・家族計画と意義と避妊法 ・人工妊娠中絶 ・教材等 ・意見・感想レポート ・視聴DVD	・家族計画の真の意義を理解し、ケースに応じた避妊法を選択できるか。 ・課題解決に向けた社会の様々な取り組みについて、周りの意見を聞いたり、自分の意見を持っているか。 (レポート評価)	○	○	○	3		
	・定期考査、答案返却 ・1学期の振り返り	・思春期と健康、妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶に関わるブレインストーミングやロールプレイング。	・課題解決に向けた社会の様々な取り組みについて、周りの意見を聞いたり、自分の意見を持っているか。	○	○	○	3		
2 学 期	A 単元 働くことと健康 ・働くことの意義と健康との関わりについて理解し、よりよい働き方を構築する意識を養う。 ・現代の働き方の多様性を認識し、それに伴う健康問題の変化を理解する。	・指導事項 ・働くことによる健康問題 ・働き方と健康問題の変化 ・教材等 ・意見・感想レポート ・視聴DVD	・働くことの意義と健康との関わりについて説明することができる。 ・仕事を健康の視点から捉え、具体的に活用しようとする姿勢がみられる。 ・課題解決に向けた社会の様々な取り組みについて、周りの意見を聞いたり、自分の意見を持っているか。 (レポート評価)	○	○	○	3		
	B 単元 保健サービスとその活用 ・保健行政の役割や保健サービスの活用方について理解する。 ・わが国における医療保険の仕組みやさまざまな医療機関の役割を理解する。 ・医薬品の正しい使用法を科学的に理解する。 ・医薬品の安全性を守る取り組みの必要性を理解する。	・指導事項 ・保健行政の役割 ・保健サービスの活用 ・医療の供給と医療保険 ・医療機関と医療サービスの活用 ・医薬品の制度とその活用 ・教材等 ・意見・感想レポート ・視聴DVD	・保健行政の役割や保健サービスの活用について例を挙げて説明ができるか。 ・わが国における医療保険の仕組みやさまざまな医療機関の役割を説明できるか。 ・医薬品の正しい使用法を科学的に説明できるか。 ・医薬品の安全性を守る取り組みの必要性を具体例を挙げて説明できるか。 ・課題解決に向けた社会の様々な取り組みについて自分の意見を持っているか。 (レポート評価)	○	○	○	4		
	C 単元 大気汚染と健康 ・大気汚染の原因を科学的に理解し、人体への影響を考える。 ・地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊など地球規模で改善に向けて取り組む必要があることを理解する。	・指導事項 ・大気汚染の原因と健康影響 ・大気にかかわる地球規模の問題 ・教材等 ・意見・感想レポート ・視聴DVD	・大気汚染の原因と健康への影響について例を挙げて説明できる。 ・大気にかかわる地球規模の問題について例を挙げて説明できる。 ・課題解決に向けた社会の様々な取り組みについて周りの意見を聞いたり、自分の意見を持っているか。 (レポート評価)	○	○	○	3		
	D 単元 水質汚濁、土壌汚染と健康 ・水質汚濁や土壌汚染の原因を科学的に理解し、人体への影響を考える。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生の仕組みについて理解しそれらの改善に向けての対策を学ぶ。	・指導事項 ・水質汚濁とその健康影響 ・土壌汚染とその健康影響 ・大気汚染、水質汚濁、土壌汚染のかかり ・教材等 ・意見・感想レポート ・視聴DVD	・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生の仕組みについて説明できる。 ・課題解決に向けた社会の様々な取り組みについて周りの意見を聞いたり、自分の意見を持っているか。 (レポート評価)	○	○	○	3		
	・定期考査、答案返却 ・2学期の振り返り	・働くことと健康、保健サービスとその活用大気汚染・水質汚濁・土壌汚染と健康に関わるブレインストーミングやロールプレイング。	・課題解決に向けた社会の様々な取り組みについて、周りの意見を聞いたり、自分の意見を持っているか。	○	○	○	3		
3 学 期	A 単元 食品の安全性 ・食品の安全性を維持するためには、食品が私たちの手にわたり、消費・廃棄されるまでの一連の流れの、それぞれの段階において、行政・生産者・製造者・消費者がそれぞれの役割を果たすことが必要なことを理解する。 ・食中毒、食品添加物、輸入食品、食物アレルギーなど身近な問題点を把握し、対処法を養う。 ・法律に基づく行政の役割、製造者の衛生管理、消費者の役割を理解し、将来を見通した視点を養う。	・指導事項 ・食品の安全性と健康 ・食品の安全性に関する今日的課題 ・食品の安全性の確保 ・食品の安全と私たちの役割 ・教材等 ・意見・感想レポート ・視聴DVD	・食品の安全性と健康との関わりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。 ・課題解決に向けた社会の様々な取り組みについて自分の意見を持っているか。 (レポート評価)	○	○	○	4		
	B 単元 労働災害と健康 ・労働災害の種類を理解し、その原因について考察する意識を養う。 ・労働災害を防止するために必要な要因を理解し、社会生活に結びつける意欲を養う。	・指導事項 ・労働災害とその要因 ・労働災害の防止 (安全管理、健康管理) ・教材等 ・意見・感想レポート ・視聴DVD	・労働災害の種類を理解し、その原因について例を挙げて説明できる。 ・労働災害を防止するために必要な要因を理解し、実生活での活用例を具体的に挙げることができる。 ・課題解決に向けた社会の様々な取り組みについて周りの意見を聞いたり、自分の意見を持っているか。 (レポート評価)	○	○	○	3		
	・定期考査、答案返却 ・3学期及び1年間の振り返り	・食品の安全性、労働災害と健康に関わるブレインストーミングやロールプレイング。	・課題解決に向けた社会の様々な取り組みについて、自分の意見を持っているか。	○	○	○	4		
							合計		
							39		

都立葛飾商業高等学校 令和7年度（2学年用） 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語（英語） 科目：英語コミュニケーションⅠ 単位数：2 単位
対象学年組：第 2 学年 A 組～ B 組

使用教科書：「Amity English CommunicationⅠ」（開隆堂）

教科 外国語（英語） の目標：

【知識及び技能】	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を聞く、読む、話す、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や、話し手や書き手の意図などを理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実際に英語を用いた言語活動を通して、英語の音声、句読法、語彙、文構造及び文法事項について理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを適切な英語で表現することを通して、日常的な話題について伝え合うことができるようになる。	異文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 〔や〕	話 〔発〕	書					
1 学 期	Lesson6 Our School 【知識及び技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 学校での生活について、適切に表現したり伝え合ったりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えようとする態度を身に着ける。	・英語での自己紹介 ・品詞について ・辞書の見方 ・be動詞・一般動詞の現在形 ・お気に入りを紹介する表現 ・学校での生活についての会話 ・発音の強勢について ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できている。 【思考・判断・表現】 学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力・人間性】 学校での生活について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	8
	定期考査	・単元の内容理解を確認する。		○			○	本単元で学習した内容を理解している。	○	○		1
	Lesson7 Serendipity 【知識及び技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 セレンディピティについて、適切に表現したり伝え合ったりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 セレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝えようとする態度を身に着ける。	・本単元の文法事項 ・人を紹介する表現 ・登場人物についての会話 ・主語と述語動詞について ・セレンディピティについての発表 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できている。 【思考・判断・表現】 セレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力・人間性】 セレンディピティについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	14
	定期考査	・単元の内容理解を確認する。		○			○	本単元で学習した内容を理解している。	○	○		1

2 学 期	Lesson8 Sapeurs 【知識及び技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 だれかからもらった大切なものについて適切に表現したり伝え合ったりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 だれかからもらった大切なものについて、考えや気持ちを話して伝えようとする態度を身に着ける。	・本単元の文法事項 ・感想・意見を述べる表現 ・だれかからもらった大切なものについてについての会話 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用 ・時制・相・法の関係について	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できている。 【思考・判断・表現】 だれかからもらった大切なものについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力・人間性】 だれかからもらった大切なものについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	16
	定期考査	・単元の内容理解を確認する。		○			○	本単元で学習した内容を理解している。	○	○		1
	Lesson9 Special Makeup Effects 【知識及び技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな映画について、適切に表現したり伝え合ったりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 好きな映画について、考えや気持ちを話して伝えようとする態度を身に着ける。	・本単元の文法事項 ・好きな物事について述べる表現 ・好きな映画についての会話 ・繰り返しを避ける表現について ・好きな映画についての発表 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用 ・時制・相・法の関係について	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できている。 【思考・判断・表現】 好きな映画について、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力・人間性】 好きな映画について、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	18
定期考査	・単元の内容理解を確認する。		○			○	本単元で学習した内容を理解している。	○	○		1	
3 学 期	Lesson10 Clean Water 【知識及び技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 好きな飲み物や将来の夢などについてかのためにあげたいことについて、適切に表現したり伝え合ったりすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 好きな飲み物や将来の夢などについて、考えや気持ちを話して伝えようとする態度を身に着ける。	・本単元の文法事項 ・好きな飲み物や将来の夢などについての会話 ・好きな飲み物や将来の夢などについての発表 ・英文の音読 ・ICTの活用 ・1人1台端末の活用 ・時制・相・法の関係について	○	○	○	○	○	【知識・技能】 本単元の文法や語彙・表現の理解を深め、実際のコミュニケーションにおいて、適切に活用できている。 【思考・判断・表現】 好きな飲み物や将来の夢などについて、考えや気持ちを話して伝えている。 【学びに向かう力・人間性】 好きな飲み物や将来の夢などについて、考えや気持ちを話して伝えようとしている。	○	○	○	17
	定期考査	・単元の内容理解を確認する。		○			○	本単元で学習した内容を理解している。	○	○		1
計 78												

年間授業計画

高等学校 令和7年度（2学年用）

教科

家庭

科目

家庭総合

教科 科

家庭

科目

家庭総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A組、B組

使用教科書：（「未来へつなぐ家庭総合365」 教育図書

）

教科

家庭

の目標：

【知識及び技能】人間の発達と家庭生活を総合的に捉え、生活における基礎的な技術と知識を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域社会における生活上の課題を見つけ、解決策を見つけながら課題解決の力を養う

【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会構築のため、互いに協働しながら生活文化を継承し、生活の充実向上を目指す態度を養う

科目

家庭総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
家庭生活、福祉、衣食住、消費生活、環境等について、生活を総合的に捉え、基礎的な知識と技能を身に付ける	家庭生活、福祉、衣食住、消費生活、環境等における課題を見つけ、解決策を考えながら課題解決の力を養う	よりよい社会構築を目指し、互いに協働しながら生活文化を継承し、生活の充実向上を目指す態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A編 第1章 生涯の生活設計1・2 【知識及び技能】 ライフステージの特徴や多様な生き方の基礎知識を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴を踏まえ、自身の生き方を振り返る 【学びに向かう力、人間性等】 自身の生き方を振り返り、学習内容を自立した生活につなげる	【指導事項】 ・あなたの将来どうする？ ・自分の人生を豊かにしよう 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 ライフステージの特徴や多様な生き方の基礎知識を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ライフステージの特徴を踏まえ、自身の生き方を振り返っている 【学びに向かう力、人間性等】 自身の生き方を振り返り、学習内容を自立した生活につなげている	○	○	○	4
	B編 第3章 住生活と住環境 【知識及び技能】 安全で快適な住環境を科学、環境の面から理解する 【思考力、判断力、表現力等】 安全で快適な住環境を踏まえ、住環境の改善を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 安全で快適な住環境を主体的に改善する	【指導事項】 ・どのような家に住みたい？ ・安全に住もう ・快適に住もう ・住まいの課題と未来の暮らし 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 安全で快適な住環境を科学、環境の面から理解している 【思考力、判断力、表現力等】 安全で快適な住環境を踏まえ、住環境の改善を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 安全で快適な住環境を主体的に改善している	○	○	○	20
	期末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
2 学期	A編 第2章 青年期の自立と家族・家庭 【知識及び技能】 青年期における自立と家族、家庭の役割を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 自己を見つめ、家族、家庭の多様なあり方を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 多様な生き方と幅広い家族、家庭のあり方を尊重する	【指導事項】 ・自立への一歩を踏み出そう ・家族・家庭って何？ ・将来の自分と家庭を想像する 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 青年期における自立と家族、家庭の役割を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 自己を見つめ、家族、家庭の多様なあり方を考察している 【学びに向かう力、人間性等】 多様な生き方と幅広い家族、家庭のあり方を尊重している	○	○	○	16
	A編 第3章 子どもの生活と保育 【知識及び技能】 子どもの成長、発達、文化、生活、福祉、関係法規を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 子育てにおける歴史や文化的背景を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 子育てにおける親や社会の役割を主体的に学ぶ	【指導事項】 ・子どもはどう育つ？ ・子どもとどうかかわろう？ ・これからの子育てとは？ 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・体験実習キット ・タブレット端末	【知識及び技能】 子どもの成長、発達、文化、生活、福祉、関係法規を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 子育てにおける歴史や文化的背景を考察している 【学びに向かう力、人間性等】 子育てにおける親や社会の役割を主体的に学んでいる	○	○	○	16
	期末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
3 学期	C編 第1章 生活における経済の計画 【知識及び技能】 金銭管理の基礎的な知識と技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 収入と支出の均衡を保つための金銭管理の方法を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 現在、未来に向けた適切な金銭管理を学ぶ	【指導事項】 ・将来に向けて家計を考えよう ・将来の経済計画を立ててみよう 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 金銭管理の基礎的な知識と技能を身に付けている 【思考力、判断力、表現力等】 収入と支出の均衡を保つための金銭管理の方法を考察している 【学びに向かう力、人間性等】 現在、未来に向けた適切な金銭管理を学んでいる	○	○	○	8
	C編 第2章 消費生活と意思決定 【知識及び技能】 消費者の権利と義務、契約や諸問題と背景を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 入手可能な情報から適切な消費行動を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 消費者に関わるあらゆる事項を自分事として考える	【指導事項】 ・何をどうやって買う？ ・かしこい消費者になろう 【教材等】 ・教科書 ・学習プリント ・タブレット端末	【知識及び技能】 消費者の権利と義務、契約や諸問題と背景を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 入手可能な情報から適切な消費行動を考察している 【学びに向かう力、人間性等】 消費者に関わるあらゆる事項を自分事として考えている	○	○	○	8
	学年末考査と振り返り	学習内容の確認と復習	三観点による総合評価とする	○	○	○	2
	D編「学校家庭クラブ」は学校行事と関連させ、D編「ホームプロジェクト」は各分野を総合させ、それぞれ生徒の実態に応じて内容を選定し、適宜実施する						合計 78

葛飾商業 高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科： 情報 科 目： 情報Ⅰ 単位数： 3 単位
対象学年組： 第 2 学年 A 組

使用教科書：（ 183 第一 情Ⅰ 713 高等学校 情報Ⅰ ）
教科 情報 教科の目標： 情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度

- 【知識及び技能】 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	情報社会を見渡す。 【知識及び技能】情報技術の発達による社会の変化新たな課題について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】情報技術の利用と発達の場面で適切に情報活用ができる。 【学びに向かう力、人間性等】情報技術の様々な課題に対して解決策を主体的に対応させる。	・指導事項 情報社会と情報通信技術 SNSの普及と情報モラル 情報社会を支える法律 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】情報技術と情報社会の関連性を理解している。 【思考・判断・表現】 情報技術の利用について適切に判断し活用出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】情報技術の様々な課題について主体的に利用できているか。	○	○	○	6
	情報デザインとメディアコミュニケーション 【知識及び技能】情報を伝えるためのメディアとデザインの基本を理解活用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】情報を伝える目的に適した手段を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】あらゆる情報デザイン技術に対して解決策を主体的に対応させる。	・指導事項 コミュニケーションメディア ソーシャルメディア 情報デザイン技術 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】情報を伝える技術を適切に活用できている。 【思考・判断・表現】情報を伝える目的に適した情報技術を活用出来ているか。 【主体的に学習に取り組む態度】あらゆる情報デザイン技術に対して主体的に解決出来ている。	○	○	○	9
	情報デザインとデジタル化 【知識及び技能】アナログからデジタルへの特徴を理解しデジタルデータの活用を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】デジタル化されたデータの適切に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】デジタル化されたデータの活用に興味をもたせる。	・指導事項 文字音声のデジタル化 画像と動画のデジタル化 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】アナログからデジタルへの変換技術を活用出来ている。 【思考・判断・表現】 デジタル化されたデータを適切に使用し表現出来ている。 【主体的に学習に取り組む態度】デジタル化の技術に興味を持って実習に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	コンピュータの仕組み 【知識及び技能】コンピュータの構成と仕組みについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】プログラム処理と作業効率関係を表現考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】CPUの機能を主体的に調べさせる。	・指導事項 コンピュータの構成 CPUとメインメモリ CPUの動作 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】コンピュータの構成と仕組みについて理解出来ている。 【思考・判断・表現】プログラム処理と作業効率の関連性を表現出来ている。 【主体的に学習に取り組む態度】コンピュータの機能を主体的に調べてまとめている。	○	○	○	9
	1 学期、内容の確認とまとめ			○	○		1
2 学 期	アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】コンピュータのアルゴリズム順次分岐反復の理解し活用が出来る。 【思考力、判断力、表現力等】プログラムリストの適切な扱い方を出来るようにする。 【学びに向かう力、人間性等】プログラミングに主体的に取り組めるようにする。	・指導事項 手順とアルゴリズム プログラムと言語 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】コンピュータのアルゴリズム順次分岐反復の理解し活用が出来ている。 【思考・判断・表現】プログラムリストの適切な扱い方が出来ている。 【主体的に学習に取り組む態度】プログラミングに主体的に取り組む完成出来ている。	○	○	○	22
	モデル化とシミュレーション 【知識及び技能】モデル化の目的とシミュレーションについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】モデル化の手順と結果を考察し表現出来るようにする。 【学びに向かう力、人間性等】モデル化が生活の中で生かされる場面を主体的に考え活用させる。	・指導事項 モデル化とは モデルを利用した問題解決 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】モデル化の目的とシミュレーションについて理解出来ている。 【思考・判断・表現】モデル化の手順と結果を考察し表現出来ている。 【主体的に学習に取り組む態度】モデル化が生活の中で生かされる場面を主体的に考え活用出来ている。	○	○	○	21
	2学期、内容の確認とまとめ			○	○		1
3 学 期	情報通信ネットワーク 【知識及び技能】情報通信ネットワークの基本構成仕組みを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】ネットワークの適切な利用と活用が出来るようにする。 【学びに向かう力、人間性等】情報通信技術に興味関心を持って主体的に活用させる。	・指導事項 情報通信ネットワーク データ伝送、IPアドレス インターネット、メール ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】情報通信ネットワークの基本構成仕組みを理解が出来ている。 【思考・判断・表現】情報通信ネットワークの基本構成仕組みを理解出来ている。 【主体的に学習に取り組む態度】ネットワークの適切な利用と活用が出来るようにする。	○	○	○	12
	情報システムとデータベースの活用 【知識及び技能】データの性質とその特徴について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】集計した数値データやテキストデータの分析考察をさせる。 【学びに向かう力、人間性等】データの収集と加工、分析などの問題に主体的に取り組まさせる。	・指導事項 情報サービスとシステム データベース データ収集と分析 ・教材 e-learning CBT ・一人1台端末の活用	【知識・技能】データの性質とその特徴について理解し活用出来ている。 【思考・判断・表現】集計した数値データやテキストデータの分析考察が的確に出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】データの収集と加工、分析などの問題に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	3 学期、内容の確認とまとめ			○	○		1
							合計
							78

高等学校 令和7年度（2学年用）教科 商業 科目 簿記

教科 商業 科目 簿記 単位数 3 単位
対象学年組 第 2 学年 B 組～ 組

使用教科書：（ 現代簿記（190東法 商業711） ）

教科 商業 の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人としての必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】商業の各分野について体系的・系統的にいかするとともに、関連する技統を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】職業人としての必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的にかつ協働的に取り組む態度を養う

科目 簿記 の目標： 商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、取引の記録と財務諸表の作成に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける	取引の記録と財務諸表の作成の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠にもとづいて創造的に課題に対応する力を養う	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力の向上を目指してみずから学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的にかつ協働的に取り組む態度を養う

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	第1編簿記の原理、1章簿記の概要・2章一巡の手続き・3章会計帳簿 【知識及び技能】簿記の意味、前提、目的、種類、歴史及び簿記が企業の経営活動を会計帳簿に記録し、計算・表示するものであることについて理解します 【思考力、判断力、表現力等】資産・負債・純資産・収益・費用について、具体的なイメージを持ち自分自身の言葉で表現しようとしている 【学びに向かう力、人間性等】5要素の基本概念や具体例、貸借対照表や損益計算書の役割、構造など簿記の基礎的な知識を主体的かつ積極的に学習しようとしている	・指導事項 簿記の概要・一巡の手続き・会計帳簿 ・教科書 ・一人1台端末の活用 等 まとめに使用	【知識・技能】企業における簿記の意味・目的・種類・歴史にかんする基礎的知識を身につけ、簿記を学ぶことの必要性や重要性について理解している 【思考・判断・表現】 企業における簿記の意味・前提・目的・種類・歴史について思考を深め、簿記の必要性と重要性を考え、自分自身の言葉で表現しようとしている 【主体的に学習に取り組む態度】企業における簿記の意味・前提・目的・種類・歴史について自ら学び、簿記の必要性を理解したうえで、簿記の学習に主体的かつ協働的に取り組もうとしている	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第Ⅱ編 取引の記帳 1章現金の記帳 2章商品売上の記帳 【知識及び技能】簿記上の現金の入金と出金の仕訳、現金出納帳の作成方法、および現金過不足の記帳方法について学習します 【思考力、判断力、表現力等】 定額資金前渡法の意味や小口現金に関する仕訳、小口現金出納帳の作成方法について学習します 【学びに向かう力、人間性等】商品売上の取引や、それにもなう記帳方法について自ら学び、各取引の仕訳の方法や補助簿への記入方法を主体的かつ積極的に身に付けようとしている。	・指導事項 掛け取引の記帳・手形取引の記帳・有価証券の記帳 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】簿記上の現金・現金過不足・当座預金・当座借り越し・小口現金に関する基本的な取引及び仕訳について理解している 【思考・判断・表現】 現金や預金に関する取引が、総勘定元帳だけでなく、補助簿にも記入される 【主体的に学習に取り組む態度】現金預金小口現金に関する取引や、それにもなう制度の仕組みについて自ら学び、各取引の仕訳の方法や各種補助簿への記入方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
2 学 期	3章 掛け取引の記帳・4章手形取引の記帳・5章有価証券の記帳 【知識及び技能】売掛金に関する仕訳、元帳の記入方法、および売掛金勘定と売掛金元帳の関係について学習します 【思考力、判断力、表現力等】売掛金勘定と売掛金元帳、買掛金勘定と買掛金元帳の関係性について考え、自分自身の言葉で表現しようとしている 【学びに向かう力、人間性等】	・売掛金・手形取引の概要・有価証券の取得と売却 ・教科書 ・一人1台端末の活用 まとめに使用	【知識・技能】売掛金及び買掛金に関する基本的な取引および仕訳について理解している 【思考・判断・表現】 掛け取引が補助元帳にも記入される理由について考えようとしている 【主体的に学習に取り組む態度】売掛金及び買掛金に関する取引について自ら学び、各取引の仕訳の方法や各種補助簿への記入方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	6章 固定資産の記帳・7章その他の債権債務の記帳 【知識及び技能】売掛金に関する仕訳、元帳の記入方法、および売掛金勘定と売掛金元帳の関係について学習します 【思考力、判断力、表現力等】売掛金勘定と売掛金元帳、買掛金勘定と買掛金元帳の関係性について考え、自分自身の言葉で表現しようとしている 【学びに向かう力、人間性等】	・固定資産・固定資産の取得・固定資産の売却・その他の債権債務の記帳 ・教科書 ・一人1台端末の活用 まとめに使用	【知識・技能】固定資産の意味とその種類、およびそれぞれの具体例について理解している。 【思考・判断・表現】 固定資産の具体例から、どの勘定科目を使用するかを判断することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】固定資産の意味や種類、および固定資産に関する取引について自ら学び、各取引の仕訳の方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	8章 販売費と一般管理費・9章 個人企業の純資産・10章 個人企業の税金 【知識及び技能】個人企業の純資産を増加・減少させる取引、引き出し金に関する処理の記帳法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 販売費と一般管理費・個人企業の純資産・個人企業の税金 ・教科書 ・一人1台端末の活用 まとめに使用	【知識・技能】販売費と一般管理費の意味と具体例について理解している 【思考・判断・表現】 資本の引き出しについて資本金勘定に記入するのではなく、引き出し金勘定を設けて処理する理由について考えようとしている 【主体的に学習に取り組む態度】個人企業の純資産を増加・減少させる取引について自ら学び、各取引の仕訳の方法を、主体的かつ積極的に身に付けようとしている	○	○	○	20
	定期考査						1
							合計
							78

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 商業 科目 情報処理

教科：商業 科目：情報処理 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組～ B組

使用教科書：（教科書 商業715「最新情報処理」）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うこと

【思考力、判断力、表現力等】ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の持続的な発展することを思考する

【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成すること

科目 情報処理 の目標：	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	企業における情報を扱うことについて体系的に理解し関連する技術を身に付けている。	企業における情報を扱うことに関する課題を発見し、科学的根拠に基づき創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指し自ら学び、情報を適切に扱うことを主体的・協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1章 企業活動と情報処理 1節 情報処理の重要性 【知識及び技能】 情報とは何かを考える学習活動により、情報の意義と役割を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 コンピュータを利用した情報の処理や活用的重要性を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 ICT人材に求められる役割と身につけるべき能力の概要を理解する	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報の意義と重要性について考え、説明することができたか 【思考・判断・表現】 情報システムの構成や処理方式の概要を理解し、具体的な利用例を説明できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスにおける情報の役割を理解し、これを活用するための知識や技術を積極的 に 身に付けようとする態度を持ったか	○	○	○	2
	2節 情報モラルと法規 【知識及び技能】 情報の価値を考える学習活動 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 情報を取り扱う上で守るべき法規の必要性と、その概要を理解する	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報モラルにもとづいた正しい行動のあり方を考え、説明することができたか 【思考・判断・表現】 ネットワーク社会の危険性に気づき、対策を理解することができたか 【主体的に学習に取り組む態度】 法令を遵守しようとする態度を身に付けたか	○	○	○	2
	3節 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 企業における適切な情報処理について理解 【思考力、判断力、表現力等】 企業における情報処理について自ら学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 関連する技術を身に付ける	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 情報デザインについて理解する 【思考・判断・表現】 情報デザインの意義と課題について、企業活動と関連付けて見いだせる 【主体的に学習に取り組む態度】 適切な情報処理に主体的かつ協働的に取り組もうとしている	○	○	○	2
	2章 コンピュータシステムと情報通信ネットワーク 1節 コンピュータシステムの概要 【知識及び技能】 コンピュータの基本的な機能と構成を理解 【思考力、判断力、表現力等】 ハードウェアとソフトウェアの種類と機能について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 活用する基本的な技術を身に付ける	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 コンピュータの基本的な機能と構成を理解 【思考・判断・表現】 ビジネスに活用できるハードウェアとソフトウェアを適切に構成 【主体的に学習に取り組む態度】 機能を活用することができる	○	○	○	2
	2節 情報通信ネットワークのしくみと構成 【知識及び技能】 情報通信ネットワークを利用 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネス情報の検索 【学びに向かう力、人間性等】 活用する基本的な技術を身に付ける	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 効率的な検索ができるか 【思考・判断・表現】 情報の価値や正確性について理解 【主体的に学習に取り組む態度】 検索・収集にインターネットを利用することに興味を持つ	○	○	○	2
	3節 インターネットの活用 【知識及び技能】 情報の価値を考える学習活動 【思考力、判断力、表現力等】 必要な情報モラルの基本的な考え方や態度について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 電子メールの利用方法について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 電子メールを適切に利用できるか 【思考・判断・表現】 電子メールの危険性などについて理解 【主体的に学習に取り組む態度】 電子メールのマナーなどについて興味を持つ	○	○	○	2
	4節 情報セキュリティの確保 【知識及び技能】 情報化社会に参画する 【思考力、判断力、表現力等】 個人が身につけるべきセキュリティ管理 【学びに向かう力、人間性等】 セキュリティ管理の方法について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人が身につけるべき方策や様々な問題点などについて理解 【思考・判断・表現】 セキュリティ対策などを考察できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持つ	○	○	○	2
	定期考査			○	○		0
	3章 情報の集計と分析 1節 ビジネスと統計 【知識及び技能】 情報の重要性を理解 【思考力、判断力、表現力等】 情報を分析 【学びに向かう力、人間性等】 傾向を把握する能力	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 個人が身につけるべき方策や様々な問題点などについて理解 【思考・判断・表現】 セキュリティ対策などを考察できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 情報技術におけるセキュリティ管理について興味を持つ	○	○	○	5
	2節 関数を利用した表の作成 【知識及び技能】 基本的な操作 【思考力、判断力、表現力等】 社会生活で用紙の活用について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 基本的な操作について理解 【思考・判断・表現】 関数等について理解 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	5

	計算式及び関数についての理解 【学びに向かう力、人間性等】 目的に応じて適切な表の作成する技術		【主体的に学習に取り組む態度】 適切に表現し、主体的かつ協働的に取り組む				
	3 節 グラフの作成 【知識及び技能】 表計算ソフトウェアを利用 【思考力、判断力、表現力等】 グラフの種類や構成要素、特色を理解 【学びに向かう力、人間性等】 目的に合ったグラフ作成方法の理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 グラフの特徴を理解 【思考・判断・表現】 グラフの構成要素を理解 【主体的に学習に取り組む態度】 グラフから読み取れる内容を理解	○	○	○	4
	定期考査			○	○		0
2 学 期	3 章 情報の集計と分析 4 節 情報の整列・検索・抽出 【知識及び技能】 大量のデータを目的に応じた利用 【思考力、判断力、表現力等】 表計算ソフトのデータベース機能を利用 【学びに向かう力、人間性等】 整列や検索、抽出の技法について理解	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 基準のキー項目でデータの整列ができるか 【思考・判断・表現】 データの分類や整列、必要なデータの検索、抽出ができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 抽出されたデータなどの意義などを理解し、分析する判断に利用できたか	○	○	○	5
	5 節 問題の発見と解決の方法 【知識及び技能】 事象をモデル化し、シミュレーションを行う基礎的な技法 【思考力、判断力、表現力等】 プログラムとして表現する基礎的な技法を用いた問題の発見と解決について考察 【学びに向かう力、人間性等】 PPM分析などを活用した情報の整理	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ビジネスに関する問題の発見と解決について、基礎的な技法を理解し、関連する技術を身に付ける 【思考・判断・表現】 ビジネスに関する問題の発見と解決について、情報の提供に対する要求を分析し、表現し、評価・改善できる 【主体的に学習に取り組む態度】 自ら学び、情報の提供と活用について主体的に取り組む	○	○	○	5
	4 章 ビジネス文書の作成 1 節 ビジネス文書と表現 【知識及び技能】 文書情報がコミュニケーションの重要な手段 【思考力、判断力、表現力等】 諸活動の中で果たしている役割や種類について理解する 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 各種文書の役割や文書の構成要素などについて理解できたか 【思考・判断・表現】 情報と文書の関係などについて 【主体的に学習に取り組む態度】 タイピングの重要性	○	○	○	6
	2 節 基本文書の作成 1. ワープロの操作と入力方法 【知識及び技能】 ワープロの利用に関する知識と技術 【思考力、判断力、表現力等】 文書の構成、構成要素の配置、文書作成の要領 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ワープロの利用に関する知識を習得しているか 【思考・判断・表現】 ワープロの利用に関する技術を習得しているか 【主体的に学習に取り組む態度】 ワープロを利用した基本文書の作成に興味をてるか	○	○	○	6
	2 節 基本文書の作成 2. ワープロを利用した文書の作成 3. 社外文書 4. 社内文書 【知識及び技能】 文書作成に関する知識と技術 【思考力、判断力、表現力等】 基本的な社内文書や社外文書を取り上 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ワープロの基本的な機能を利用して文書が作成できるか 【思考・判断・表現】 ワープロの機能などを理解できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 文書体裁を考える	○	○	○	6
	3 節 応用文書の作成 【知識及び技能】 ワープロの多様な機能を利用 【思考力、判断力、表現力等】 表やグラフなどを含む文書の作成に関する知識 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 計算機能やグラフ、イラストなどを利用した文書を作成できるか 【思考・判断・表現】 データの差し込み機能などを理解できたか 【主体的に学習に取り組む態度】 必要に応じて様々な機能を選択できるか	○	○	○	6
3 学 期	5 章 プレゼンテーション 1 節 プレゼンテーションの技法 【知識及び技能】 基礎的な技法を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 プレゼンテーションの意義を理解 【学びに向かう力、人間性等】 プレゼンテーションの準備から評価改善に至るまでの一連の流れ	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 プレゼンテーション活動の意義や役割を理解 【思考・判断・表現】 プレゼンテーションの準備から評価改善に至るまでの一連の流れ 【主体的に学習に取り組む態度】 基礎的な技法を身に付けているか	○	○	○	8
	2 節 ビジネスにおけるプレゼンテーション 【知識及び技能】 プレゼンテーションソフトウェアを活用 【思考力、判断力、表現力等】 資料の作成などの発表準備から発表までの一連の活動 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 資料作成などの準備ができているか 【思考・判断・表現】 聴衆が理解しやすい資料や構成になっているか 【主体的に学習に取り組む態度】 実習や探究問題に主体的に取り組んでいるか	○	○	○	4
	総合演習 【知識及び技能】 各種ソフトウェアを適切に活用 【思考力、判断力、表現力等】 報告書や文書を作成 【学びに向かう力、人間性等】 発表する	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 各種ソフトウェアを活用しているか 【思考・判断・表現】 ソフトウェアと連携した文書などが作成できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な機能などを理解しているか	○	○	○	4
	合計						78

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 総合 科目 基礎学習Ⅱ

教科： 総合 科目： 基礎学習Ⅱ 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ B 組

使用教科書：（ なし ）

教科 総合 の目標：

【知識及び技能】昨年度、学習した基礎学習Ⅰを発展させ、文字の素早い入力と文書の適切な編集する処理能力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】正しい日本語の入力と変換を理解し、文書作成において適切な配置を理解する。書類作成能力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に自分の目標を達成しようとする態度、粘り強く取り組もうとする態度を養う。

科目 基礎学習Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日本語の文章の素早い入力と正しい変換、文書の作成（入力と編集）の処理ができる。	作成した文章の間違ひを見つけて正しく修正する。文書の正しい配置を理解し編集ができる。	与えられた課題に対して、積極的に取り組む姿勢があるか。目標の達成に向けて努力をしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	A 単元 文字の入力と編集 【知識及び技能】 素早い文字の入力と変換を理解 【思考力、判断力、表現力等】 企業用の文書を正しく作成する 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標に向かって取り組む態度 定期考査	・指導事項：個々の課題に対する個別指導の実施 ・教材：検定試験用模擬問題 ・パソコンの利用 等	【知識・技能】 日本語の変換を正しく行い文字の入力ができる 【思考・判断・表現】 文書用の編集機能を理解し入力ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 毎月の時間計測を通じて自身の到達度を把握し目標を達成できたか	○	○	○	12
2 学 期	A 単元 文字の入力と編集 【知識及び技能】 素早い文字の入力と変換を理解 【思考力、判断力、表現力等】 企業用の文書を正しく作成する 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標に向かって取り組む態度	指導事項：個々の課題に対する個別指導の実施 ・教材：検定試験用模擬問題 ・パソコンの利用 等	【知識・技能】 日本語の変換を正しく行い文字の入力ができる 【思考・判断・表現】 文書用の編集機能を理解し入力ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 毎月の時間計測を通じて自身の到達度を把握し目標を達成できたか	○	○	○	17
3 学 期	A 単元 文字の入力と編集 【知識及び技能】 素早い文字の入力と変換を理解 【思考力、判断力、表現力等】 企業用の文書を正しく作成する 【学びに向かう力、人間性等】 自身の目標に向かって取り組む態度	指導事項：個々の課題に対する個別指導の実施 ・教材：検定試験用模擬問題 ・パソコンの利用 等	【知識・技能】 日本語の変換を正しく行い文字の入力ができる 【思考・判断・表現】 文書用の編集機能を理解し入力ができる 【主体的に学習に取り組む態度】 毎月の時間計測を通じて自身の到達度を把握し目標を達成できたか	○	○	○	10
							合計 39